



本社社屋

主な事業内容

金属製品の塗装

主な取引先(納入先)

住宅設備、建材、機械各メーカー、
金属プレス・板金加工会社

主な製品

照明器具、住宅設備、
鋼製家具、農機具

朝日塗装 株式会社

多様な分野の金属製品を 効率的に美しく塗装

納期相談
コスト相談
オンライン見積
メドインジャパン
試作可小ロット
量産対応

業務内容

小ロットから量産品まで 手法を使い分け対応

金属製品の焼き付け塗装を行う朝日塗装。静電塗装（液体・粉体）や手吹き塗装を使い分けて小ロットから量産品まで対応している。なかでも静電塗装は、静電気の力を利用して霧状や粉状の塗料を製品に付着させる手法だ。塗料を噴射した正面だけでなく、側面や背面までムラなく、美しく仕上げる事ができる。

昭和26年に齋藤浩幸社長の祖父が創業した。その後、朝日ナショナル照明（現パナソニックライティングシステムズ）と資本提携を結び、照明器具の塗装を長く手がけてきた。平成10年、朝日ナショナル照明の工場移転を機に提携関係を解消し、100%独自資本で再スタートを切った。

強み

コスト低減の秘訣は 前処理の一括作業

現在、農機具、建築金物、鋼製家具など、様々な製品の塗装を手がけ、常時取引している顧客は150社に上る。塗装ラインを4本保有することで、納期など顧客の要望に柔軟に 대응することができるのが強みである。金属表面の異物除去や塗膜の密着性向上のための前処理

工程は塗装ライン4本分を一括作業することで、コスト低減につながっている。また、塗装時に製品を吊り下げ可能なハンガーに手を加え、吊り下げ可能な個数を増やすなど、生産性向上にも努める。今後は、分散する工場の集約も検討する。齋藤社長は「1フロアに4ラインを集約し、より生産効率を高めた拠点を整備したい」と話す。

組織強化

挑戦するスタンスを 持ち続け技術力向上へ

製造現場では30代の若手がリーダーとなり、日々の作業の進行管理や各塗装ラインの保守などを行っている。いかに彼らと50代の幹部社員の橋渡しをするか、若手が長く働きたいと思える職場環境を整えるかが組織面の課題だという。

また、技術力向上を図り、品質のさらなるレベルアップにも取り組む方針だ。齋藤社長は「実績や経験がないからやらないではなく、まずやってみる。そこで努力をして、ノウハウを習得したり、自信を手にしたたりすることができれば、同じような仕事をまた請け負うことができる。果敢にチャレンジする」というスタンスは全社で「持ち続けたい」としている。

社長あいさつ



代表取締役
齋藤 浩幸さん

会社を強くするためには団結力が重要だと考えています。スタッフ全員が技術力を磨き、お互いに高め合っていく環境こそが私が見たい会社の姿です。それを実現できるよう、日頃からスタッフとのコミュニケーションを図り、和やかで居心地の良い職場づくりを心がけています。

主な保有設備

- ディスク型No2(自動塗装装置) CFTランズバーグ製 3台
- レシプロケーター 旭サナック製 1台
- 摩擦帯電式粉体塗装ガン CFTランズバーグ製

大阪 03

住所 / 〒581-0851
八尾市
上尾町4-11-13
TEL / 072-995-7577
FAX / 072-995-7580
創業 / 昭和26年3月
設立 / 昭和28年11月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 55名



<https://www.asahi-tosoh.co.jp/>



塗装現場



塗装作業の様子